

一般質問(2)



西武柳沢駅北口(保谷町3丁目)

公園行政について  
【質問】 東伏見公園にもっと人を呼ぶためには地域と連携したイベントの実施が不

もっと！市民サービスの向上！  
すすめる！まちづくり！

酒井 豪一郎(自民)

可欠だ。そのための条件・インフラ整備を行うべき。  
【市長】 東京都に伝える。西武柳沢駅周辺のまちづくりについて

【質問】 駅周辺は道路環境の整備が進まず利用しにくい。第四次事業化計画の状況は。  
【市長】 地域の意向を踏まえ、整備の検討を進めていく。

市民サービス向上について  
【質問】 コンビニは市民にとり身近で便利な店舗

近で便利な店舗

夢のある街づくりを！  
西東京市のこれからの10年へ

浜中 のりかた(自民)

待機児童の解消へ！

761人の受け入れ枠増へ！

【質問】 現在、子ども子育て審議会において審議、検討されている待機児童対策の今後のスケジュールについて伺う。

【答弁】 平成29年度未までに待機児童の解消を図るために、761人の定員増を図り待機児童の解消を目指す。

【意見】 わずか3年で761人の定員増というのは驚くべき数字である。量を確保しながら、質を確保するというのは難しいことであり、財源の問題もあるが、我々も行政と一体となって、待機児童の解消、幼児教育無償化に向けて政策を押し進め

ていきたい。

田無駅南口駅前広場の早期実現を！  
【質問】 平成26年10月1日に田無駅南口駅前広場の整備に向けた説明会が行われたが、現在の取り組み状況とスケジュールについて伺う。

【答弁】 平成27年度以降の予定の取得を目指し、地元の関係権利者への丁寧な説明と合意形成に努める。

【意見】 さまざまな課題はあるが、防災という観点から考えても、権利者等のご理解をいただき、南口駅前広場を起点とした田無南部地域の都市整備づくりに力を入れる必要がある。

生活困窮者自立支援制度について  
健康ポイント制度について

田中 のりあき(自民)

【質問】 平成27年4月に生活困窮者自立支援法が施行される。生活保護手前の新たなセーフティネットをつくり、早期の自立を目指すことが目的であるが、現時

点での検討状況は。  
【答弁】 本市では、庁内検討委員会と部会を設置し、実施事業や実施方法について検討してきた。実施事業は、必須事業として自立相談支援事業と同居確保給付金の2事業、任意事業として就労準備支援事業、家計相談支援事業、学習支援事業の3事業である。

【意見】 来年度から生活困窮者への新たな支援が始まる。以前から指摘しているところ、生活つなぎ資金をこの



田無駅南口(南町5丁目)

活力と笑顔のある西東京に！  
地域の伝統を大切に！

保谷 なおみ(自民)

シニアの「ゆる起業支援」について  
【質問】 S・H・O施設整備促進支援について伺う。

【答弁】 支援の実施に当たっては、施設の確保やインフラ整備等が課題だ。

【意見】 シニアの「ゆる起業支援」の一環として取り組みべき。

【質問】 東久留米市のように、地場産農産物でつくった郷土食を給食で出して話題づくりをしてはどうか。  
【答弁】 有益なイベントと理解するが、市内産農産物の生産量などに課題がある。

【質問】 現在取り組んでいる地域コミュニティ活性化施策の現在の進捗状況と課題を伺う。  
【答弁】 市南部のモデル地区

タイミングで整理して、より生活困窮者の支援へと振り向けるべきだ。

【質問】 文部科学省は、住民の健診や運動をポイント化して、記念品や商品券などと交換できる健康ポイント制度を導入する自治体に補助金を支給して普及を図るとしている。本市も導入を検討すべきでは。

【答弁】 本市では平成26年10月から平成27年1月まで西東京市健康チャレンジ2014を実施している。健康ポイント制度についても、本市の取り組みとどのような組み合わせでいけるか、その動向を注視していく。

で、(仮称)地域協議体設立に向け、具体的内容を協議中である。  
\*認知症カフェについて  
【質問】 認知症カフェの市内における現状と今後の取り組みについて伺う。  
【答弁】 市内でNPO等の団体が自主的な取り組みとして始めている。今後は、介護保険の地域支援事業の中に組み込んでいく。

【その他質問等】  
◇文化財の保護と活用について

庁舎駐車場有料の対応検討を  
下野谷地権者への丁寧な対応を

稲垣 裕一(自民)

予算編成方針について  
【質問】 市長は当面厳しい財政状況が続くとの認識だが、見直しは。  
【市長】 平成26年度をピークに公債費は減少に転じるものの流動的な要素もあり、見通すことは難しい。

【質問】 基金の多額の取り崩しに対する認識は。  
【市長】 行革等の取り組みに努め、基金取り崩しの抑制を図っていく。

【質問】 補助金等の歳入の見込みについては。  
【市長】 議会からの指摘も踏まえ確実に確保を図る。

【質問】 追加指定範囲内の地権者が同意されるかどうか  
【意見】 確実に結果反映を。

北原地区会館、東大農場、  
公園行政について

小林 たつや(自民)

【質問】 市民交流施設の中で最も古い昭和29年竣工の北原地区会館の今後について伺う。  
【答弁】 施設利用率や市民ニーズに配慮し考えていく。

【意見】 防災拠点、コミュニティの拠点でもあるので、地域住民の意見を十分に聞き、昭和の香りの残る形での存続を強く希望する。

【質問】 東大農場の今後について伺う。  
【答弁】 売却部分は周辺地域と調和した、公的な土地活用による売却を要請する。

【意見】 将来的には公共施設を誘致する考えも含め、一時的に市で買い取り、当分の間はサイロやポプラ並木

を再現した公園のような形で残すべきである。  
【質問】 東伏見公園で行われたドッグランへの第一歩と言える「愛犬のしつけ教室」について伺う。  
【答弁】 ボランティアの協力も受け、大変好評であった。「相談コーナー」も好評だったようだ。今後は、いこいの森公園や東伏見公園で、愛犬家ボランティアの方の協力を得て、「一日体験ドッグラン」を実施し、市内ドッグラン建設へと進めるべきである。

【その他質問等】  
◇石神井川の親水化について



市の農産物キャラクター「めぐみちゃん」